

くすりのしおり

自己注射剤
2024年08月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：メトレレプチン皮下注用 11.25mg「キエジ」

主成分：メトレレプチン（遺伝子組換え）(Metreleptin (genetical recombination))

剤形：白色の塊状の注射用剤

シート記載など：



この薬の作用と効果について

脂肪組織から分泌されるホルモンであるレプチンは、摂食を抑制し、エネルギーの消費を高めたり、インスリンの感受性を高めます。レプチン作用を補うことにより、糖代謝または脂質代謝を亢進させます。通常、脂肪萎縮症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・この薬は注射用水で溶解した後、使用します。
通常、男性は体重 1kg あたり主成分として 0.04mg、18 歳未満の女性は 0.06mg、18 歳以上の女性は 0.08mg を 1 日 1 回皮下に注射します。初期用量としてそれぞれ体重 1kg あたり 0.02mg、0.03mg、0.04mg から始め、1 ヶ月程度をかけて上記用量まで増量されます。年齢や症状により適宜減量されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・あらかじめ医療機関で注射方法の教育訓練を十分に受け、確実に注射できると医師から判断された患者さんは自己注射を行うことができます。自己注射する場合は医師から十分に説明を受け、使用する前に「在宅自己注射説明書」を必ず読んでから使用してください。
- ・皮下注射をする部位はお腹、太ももなどで、毎回場所を変更してください。
- ・注射し忘れた場合は、医師または薬剤師の指示を受けてください。
- ・誤って多く注射した場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、注射するのを止めないでください。

生活上の注意

- ・高所作業や自動車の運転などの作業に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながるおそれがありますので、低血糖症状（脱力感、手足の震え、発汗、動悸、めまいなど）に注意してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、注射部位反応（腫れ、痛み、かゆみ、発赤）などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・蕁麻疹、全身性発疹、発熱 [過敏症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、外箱に入れたまま冷蔵庫内（2～8℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄には注意が必要なため受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。
- ・一度使用した注射針や注射器などは再使用しないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。